

## 令和6年度保護者アンケートの結果について

春寒の候、保護者の皆様におかれましては、益々御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、1月に御協力いただいた学校評価の保護者アンケートの結果をまとめましたので、お知らせします。回収率は（96.4%）でした。

今回の結果を参考に、本年度の成果と次年度に向けての課題を明確にしてよりよい教育活動になるよう取り組んでいきます。

なお、記述式でいただいた意見や質問の中で、特に保護者の皆様にお知らせし、御理解をいただきたいものを次の項に掲載しましたのでご覧ください。

今後とも本校教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

## 1 回答の集計結果について

(A よくあてはまる=4点 B ほぼあてはまる=3点 C あまりあてはまらない=2点 D 全くあてはまらない=1点 4点満点)

	質 問	1年	2年	3年	学校全体
1	石川中学校は、教育目標、めざす生徒像に向けて、生徒の夢や希望の実現を目指した教育を行っている。	3.2	3.2	3.2	3.2
2	石川中学校は、生徒の学力向上に努めている。	3.1	3.2	3.1	3.2
3	石川中学校は、体力向上・健康教育・食育の充実に努めている。	3.2	3.2	3.2	3.2
4	石川中学校は、道徳教育の充実に努めている。	3.2	3.2	3.2	3.2
5	学校からのたより（HP）等は、学校の様子や生徒の活動がよく分かる。	3.3	3.4	3.3	3.3
6	石川中学校の教職員は、生徒一人一人に寄り添った教育をしている。	3.2	3.3	3.2	3.2
7	石川中学校の教職員は、保護者に対して誠意をもち、相談に応じている。	3.3	3.4	3.3	3.3
8	石川中学校の教員は、分かる授業をしている。	3.0	3.2	3.1	3.1
9	石川中学校の生徒は、きまりやルールを守っている。	3.2	3.2	3.2	3.2
10	石川中学校の生徒は、明るく、実行力がある。	3.2	3.3	3.2	3.3
11	石川中学校の生徒は、思いやりの心が育っている。	3.1	3.4	3.2	3.2
12	子どもは、元気に学校に通っている。	3.4	3.4	3.5	3.4
13	子どもは、学級の中で安心して生活していると感じる。	3.4	3.3	3.3	3.3
14	子どもは、授業に意欲的に取り組んでいる。	3.0	3.1	3.0	3.1
	平均値	3.2	3.3	3.2	3.2

3.3（あてはまるが80%）以上を網掛けにしています。

## 2 集計結果の分析について

- 全体的な傾向として、全体の平均値は「4」段階で「3.2」であり昨年と同様であった。また、すべての項目で「3.0」以上を上回っており、項目ごとのとらえ方の差も少ない。今年度数値が高かった項目は、12番「子どもは、元気に学校へ通っている。」、5番「学校からのたより(HP)等は学校の様子や生活の様子がよく分かる。」7番「石川中学校の教職員は、保護者に対して誠意をもち、相談に応じている。」であった。また、12番と13番「子どもは、学級の中で安心して生活していると思う」の項目が、昨年に引き続き数値が高く、合わせて日頃の取組を温かく見守っていただいていることを実感することができた。教職員一同この結果をふまえ、更に「活動に歓声のある学校」作りを目指して行く。
- 一方で、数値が低かった項目は、14番「子どもは授業に意欲的に取り組んでいる。」、8番「石川中学校の教員は、分かる授業をしている。」、2番「石川中学校は、生徒の学力向上に努めている。」であった。この2番と8番については、昨年から引き続き、教職員の努力事項である。また、教職員の調査回答や生徒の学習アンケートからも、授業中の取組に対する姿勢と合わせて、家庭学習をどう進めていけばよいのか戸惑いを持っている生徒の現状も浮かび上がってきている。学年での学習ガイダンスや、教科における学び方の手引きなどを使って、学習することの大切さや、復習の必要性・方法など、目的意識がもてるような取組につなげたい。そして、教員の指導力の向上と授業改善に向けた研修を計画的に進め、生徒の学習に対する意欲を喚起できるように工夫していかねばならない。
- 今年度いただいた回答の中で、特筆すべきは、昨年最も評価が高かった9番「石川中学校の生徒は、きまりやルールを守っている。」の項目が昨年度より数値が低くなっており、重要な課題だと実感している。生徒は生活ノート『私のあゆみ』で示されている校則を守って生活しようと心がけており、生徒会を中心に校則の見直しを行うなど、主体的な取組が見られる。しかし一方では、登下校時のバスの乗降や休日の自転車の乗り方について指導する場面もあり、安全面でのルールの大切さを啓発してきた。また、学校前での送迎禁止ゾーンにおける自家用車からの乗降についても、地域の方々から心配の声をいただいているのが現状である。校外外で安全に過ごすことを意識した生活ができるよう日常的に確認していく。